

人文学研究科

学位プログラム： 人文学

授与する学位： 修士（文学）、博士（文学または学術）

教育目標

【博士前期課程】

大阪大学および人文学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「人文学」は、文献研究の方法を基盤としつつ、現代社会の諸課題に応えるための研究アプローチを積極的に取り込み、伝統的な人文知の更新を目指す一方で、人文知の多様性・多面性を反映する哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて、それぞれの学術的文脈に即した先端的かつ独自の研究・教育をも目指します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて先端的な研究を行うための専門的知識を習得させる。
- ・各専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料の的確な収集・分析方法を把握し、文献を正確に読解する方法を習得させる。
- ・明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明晰な文章表現によって学術論文を記述する技術を習得させる。

○高度な教養

- ・人文学全般にわたる幅広く高度な教養を身につけさせる。
- ・人文学全般に関係する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを培う。
- ・多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけさせる。

○高度な国際性

- ・異文化に対する高度な知識、鋭敏な感受性および深い理解力を習得させる。
- ・人文学の教養を踏まえ、国際的に活躍できる高い言語運用能力を習得させる。

○高度なデザインカ

- ・哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自の研究テーマを設定し、現代社会の諸問題を解決する能力を習得させる。

○独自の教育目標

- ・現代社会の諸課題に応えるための研究アプローチを積極的に取り込むことを主眼とし、伝統的な人文知の更新を目指す。
- ・少人数教育、研究コミュニティによる切磋琢磨を通して鍛えられた深い人文知を有し、グローバル社会で活躍できる高度専門職業人を育成する。
- ・高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザインカに基づいて、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独創性を備えた修

士論文または修了研究を作成する能力を養う。

【博士後期課程】

大阪大学および人文学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「人文学」は、文献研究の方法を基盤としつつ、現代社会の諸課題に応えるための研究アプローチを積極的に取り込み、伝統的な人文知の更新を目指す一方で、人文知の多様性・多面性を反映する哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて、それぞれの学術的文脈に即した先端的かつ独自の研究・教育をも目指します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて、自立した研究者に必要な高度な専門的知識、調査の技能、ならびに明晰な論述能力とともに、伝統的な人文知を更新する先端的で独創的な研究に取り組む能力を習得させる。
- ・各専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料の的確な収集・分析方法を指導し、文献を正確に読解する方法を習得させる。
- ・明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明晰な文章表現によって学術論文を記述する技術を習得させる。

○高度な教養

- ・人文学全般にわたる幅広く高度な教養と、自立した研究者に必要な高度で総合的な人文学的教養を身につけさせる。
- ・人文学全般に関係する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを培い、複眼的、俯瞰的に思考し、対象を多角的に評価できる力を養う。
- ・多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけさせる。

○高度な国際性

- ・異文化に対する高度な知識と深い理解を背景に、自立した研究者として国際的に活躍できる高度な言語運用能力を習得させる。

○高度なデザインカ

- ・先行研究を広く踏まえつつ、人類の「知」の地平を拡大する豊かな感性と優れた探求能力を習得させる。

○独自の教育目標

- ・現代社会の諸課題に応えるための研究アプローチを積極的に取り込むことを主眼とし、伝統的な人文知の更新を目指すとともに、その多様性・多面性を反映する各コース・専門分野において、それぞれの学術的文脈に即した先端的かつ独自の研究・教育を目指す。
- ・少人数教育、研究コミュニティによる切磋琢磨を通して鍛えられた深い人文知を有し、グローバル社会で活躍できる高度専門職業人を育成する。
- ・最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザインカに基づい

て、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける自立した専門家としての独創性を備えた博士論文を作成する能力を養う。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【博士前期課程】

大阪大学および人文学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「人文学」は、「人文（humanities = 人間性）の知」に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身につけ、所定の単位を修得し、学位論文または修了研究の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

博士前期課程では、以下の「学習目標」を達成したと判定された学生に修士（文学）の学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・ 哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて高度な専門的知識を身につけ、先端的な研究に取り組むことができる。
- ・ 各専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、文献を正確に読解する能力・方法を習得している。
- ・ 明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明晰な文章表現によって学術論文を記述することができる。

○高度な教養

- ・ 人文学全般にわたる幅広く高度な教養を身につけている。
- ・ 人文学全般に関係する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを習得している。
- ・ 多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけている。

○高度な国際性

- ・ 異文化に対する高度な知識、鋭敏な感受性および深い理解力を習得している。
- ・ 人文学の教養を踏まえ、国際的に活躍できる高い言語運用能力を習得している。

○高度なデザイン力

- ・ 哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自の研究テーマを設定し、現代社会の諸問題を解決する能力を習得している。

○独自の学習目標

- ・ 最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザイン力に基づいて、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自性を備えた修士論文または修了研究を作成できる。

【博士後期課程】

大阪大学および人文学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「人文学」は、「人文（humanities = 人間性）の知」に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身につけ、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

博士後期課程では、以下の「学習目標」を達成したと判定された学生に、博士（文学）または博士（学術）の学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて高度な専門的知識を身につけ、先端的な研究に取り組むことができる。
- ・専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、文献を正確に読解する能力を習得している。
- ・明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明晰な文章表現によって学術論文を記述できる。

○高度な教養

- ・人文学全般にわたる幅広く高度な教養を習得しているとともに、自立した研究者に必要な高度で総合的な人文学的教養を身につけている。
- ・人文学全般に関係する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを習得しているとともに、複眼的、俯瞰的に思考し、対象を多角的に評価できる力を持っている。
- ・多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけている。

○高度な国際性

- ・異文化に対する高度な知識、鋭敏な感受性および深い理解力を習得している。
- ・国際的に活躍できる高い言語運用能力を習得している。

○高度なデザイン力

- ・哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自の研究テーマを設定し、現代社会の諸問題を解決する能力を習得している。

○独自の学習目標

- ・最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザイン力に基づいて、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける自立した専門家としての独創性を備えた博士論文を作成できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【博士前期課程】

大阪大学および人文学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「人文学」は、以下の方針でカリキュラムを編成します。

<教育課程編成の考え方>

2年間の課程を通じて、専門教育、教養教育、国際性涵養教育の3つの柱に基づいた科目編成を行い、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースの最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザイン力を養います。

- 専門教育**：「専門教育科目」により、当該分野に必要な専門知識と研究能力、ならびに国際的に発信する言語能力を養います。また、年次ごとに研究計画の策定と研究報告書の作成を課し、研究を主体的に構想・実行する能力とデザイン力を高め、高度な専門性を備えた修士論文または修了研究の完成へと導きます。
- 教養教育**：「高度教養教育科目」により、専門分野以外の学問分野や領域横断的な分野に関する高度な教養を培います。
- 国際性涵養教育**：「高度国際性涵養教育科目」により、高度な外国語運用能力、異文化や他者に対する感受性と知識を涵養します。また、海外の諸大学との交流協定等に則った留学、海外研修、国際交流への参加を促すことで、上記の能力や知識をさらに高めます。

<学修内容及び学修方法>

講義科目では、個々の主題に関する体系的な知識を習得させるとともに、与えられる論述課題を通じて、自力で資料を収集・分析・考察し、その結果を的確かつ論理的に構成・表現する能力を身につけさせます。また、演習科目では、各人が口頭発表を行うことで、日本語ならびに外国語の文献資料の高度な読解・分析能力、調査・研究を的確に遂行する能力、その結果を論理的かつ説得的に発信する能力を身につけさせます。また、人文学研究科共通の必修科目として、1年次に「人文学」の基礎知識を学ぶ「人文学基礎（人文学と対話）」（1単位）と、高度教養教育科目として開講される「人文学基礎（現代の教養）」（1単位）を履修させます。

- 専門教育**：講義科目と演習科目からなる「専門教育科目」から選択履修させます。専門分野によっては学外での実習やフィールドワークを取り入れた実習科目も開講しています。また、修士論文または修了研究の作成を通じて、独自の課題について、主体的に考究・発信する能力を身につけさせます。
- 教養教育**：講義科目と演習科目からなる「高度教養教育科目」から選択履修させます。

○国際性涵養教育：主として講義科目からなる「高度国際性涵養教育科目」から選択履修させます。

<学修成果の評価方法>

学修の成果は、講義科目、演習・実習科目においては、シラバス等に記載されている学習目標の達成度に従い、成績評価の方法（試験や課題、レポートなど）を用いて評価します。

修士論文または修了研究においては、複数の審査員が、主題選択の妥当性、論述の明晰さ、資料・文献調査の適切性、主張の独自性などを総合的に判断し、評価します。

【博士後期課程】

大阪大学および人文学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「人文学」は、以下の方針でカリキュラムを編成します。

<教育課程編成の考え方>

○哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースの講義、演習を通して当該分野に必要な深い学識と高度な研究能力、高度な教養、ならびに国際的に発信する言語能力を養います。年次ごとに研究計画の策定と研究報告書の作成を課し、研究を主体的に構想・実行する能力とデザイン力をさらに高めます。

○博士論文作成の準備のために、2年次以降に博士予備論文の提出を課します。最終年次には、自立した専門家としての独創性を備えた博士論文の完成へと導きます。

○海外の諸大学との交流協定等に則った留学、海外研修、国際交流を積極的に促します。

<学修内容及び学修方法>

○講義科目を通じて、高度な教養ならびに高度な専門性と深い学識を身につけさせます。

○演習・実習科目を通じて、①日本語ならびに外国語の文献資料の高度な読解・分析能力、②調査・研究を的確に遂行する能力、③その結果を論理的かつ説得的に発信する能力を身につけさせます。

○博士論文作成を通じて、独自の課題について、学問的価値の高い成果を主体的に考究・発信する能力を身につけさせます。

<学修成果の評価方法>

学修の成果は、講義科目、演習・実習科目においては、シラバス等に記載されている学習目標の達成度に従い、成績評価の方法（試験や課題、レポートなど）を用いて評価します。

博士論文においては、当該分野の専門家である複数の審査員が、主題選択の妥当性、論述の明晰さ、資料・文献調査の適切性、主張の独自性などを総合的に判断し、評価します。

人文学研究科カリキュラムマップ_博士前期課程 人文学専攻 学位プログラム「人文学」

専攻 最先端かつ 深い学識	高度な 国際性	高度な デザイン 力	独自の 教育 目標	博士前期1年				博士前期2年			
				春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期

人文学全般にわたる幅広く高度な教養を身につけている。	○			高度教養教育科目							
人文学全般に関係する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを習得している。	○			人文学基礎（現代の教養）【必修】 人文学基礎（人文学と対話）【必修】							
多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけている。	○			大学院横断教育科目・大学院副専攻プログラム・ 大学院等高度副プログラム				修士論文・修了研究			
哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて高度な専門的知識を身につけ、先端的な研究に取り組むことができる。	○			専門教育科目（他専門分野の科目）							
各専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、文献を正確に読解する能力・方法を習得している。	○			専門教育科目 （所属専門分野の科目）							
人文学の教養を踏まえ、国際的に活躍できる高い言語運用能力を習得している。		○		海外留学※							
異文化に対する高度な知識、鋭敏な感受性および深い理解力を習得している。		○		高度国際性 涵養教育科目							
哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自の研究テーマを設定し、現代社会の諸問題を解決する能力を習得している。			○								
明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明晰な文章表現によって学術論文を記述することができる。	○										
最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザイン力に基づいて、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独創性を備えた修士論文または修了研究を作成できる。			○	修士論文作成演習							

※海外留学は、必須ではありません。

交換留学およびエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム（ユーロカルチャー）を希望する場合は、協定校が定める語学能力に関する証明書の提出や、面接等に合格する必要があります。

上記の留学期間はモデルケースであり、留学期を限定しているものではありません。

留学期間は概ね、半年～1年程度です。

人文学研究科カリキュラムマップ_博士後期課程 人文学専攻 学位プログラム「人文学」

専攻 最先端かつ高度な 専門性と深い学識	高度な 国際性	高度な デザイン力	独自の 教育目標	博士後期1年				博士後期2年				博士後期3年			
				春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期

人文学全般にわたる幅広く高度な教養を習得しているとともに、自立した研究者に必要な高度で総合的な人文学的教養を身につけている。	○				高度教養教育科目											
人文学全般に関する現代にふさわしい高度な情報リテラシーを習得しているとともに、複眼的、俯瞰的に思考し、対象を多角的に評価できる力を持っている。	○				大学院横断教育科目・大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム											
多くの事象にわたる総合的かつ高度な人文学的教養を身につけている。	○				専門教育科目(他専門分野の科目)											
哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおいて高度な専門的知識を身につけ、先端的な研究に取り組むことができる。	○															
専門分野の研究方法に従ってデータや文献などの資料を的確に収集・分析するとともに、文献を正確に読解する能力を習得している。	○															
異文化に対する高度な知識、鋭敏な感受性および深い理解力を習得している。		○							海外留学※							
国際的に活躍できる高い言語運用能力を習得している。			○		高度国際性涵養教育科目				博士 予備論文				博士論文			
哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける独自の研究テーマを設定し、現代社会の諸問題を解決する能力を習得している。				○	専門教育科目 (所属専門分野の科目)											
明解な論旨で一貫した構成をもち、かつ明解な文章表現によって学術論文を記述できる。	○				博士論文作成演習											
最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養、高度な国際性、高度なデザイン力に基づいて、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける自立した専門家としての獨創性を備えた博士論文を作成できる。				○												

※海外留学は、必須ではありません。
 交換留学を希望する場合は、協定校が定める語学能力に関する証明書の提出や、面接等に合格する必要があります。
 上記の留学期間はモデルケースであり、留学時期を限定しているものではありません。
 留学期間は概ね、半年～1年程度です。